

科目名	公衆衛生看護方法Ⅲ (管理論) Public Health Nursing Ⅲ		担当教員 (研究室番号)	中北裕子 (404) 清水真由美 (407) 松本智美 (409) 村田久実 (409)	教員への連絡方法 (メールアドレス)							
履修年次	3年次 前期	科目 区分	専門科目・広域看護学		選択 区分	必修	単位数 (時間)	1(30)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
											オプショナル	否
科目 目的	公衆衛生看護管理の概要を知り、また、公衆衛生看護管理の一機能である地域診断の目的を十分に理解し、地域に顕在・潜在している保健・医療・福祉に関連する課題を解決するための理論や方法論を学ぶ。											
ディ プラ マ ・ ポ リ ー ( D P )	主要なDP	F 地域社会に暮らす人々の健康課題の解決に向けて、対象に応じた看護を提供できる。(技能・表現)										
	関連するDP	B 人々の生活に根差した看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解) C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。(技能・表現) E 地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考案することができる。(思考・判断)										
到達 目標	1. 公衆衛生看護活動における管理の構成要素とその目的が理解できる。 2. 公衆衛生看護管理の一機能である地域診断の目的・意義が理解できる。 3. 既存の資料の収集・分析ができる。 4. 地域住民のニーズを把握する方法ができる。 5. 地域に顕在あるいは潜在化する健康問題の分析方法が理解できる。											
成績評価方法 (基準)	テスト(40%)、グループ課題(40%)、演習への取り組み(20%)1、 ※授業の3分の2以上出席していない者は受験資格がありません。											
再試験の有無と 基準等	科目の可否で不合格となった者は再試験を実施する。なお再試験は筆記試験とし、それまでのレポート課題は再試験の評価に加味しません(追試験対象者はその限りではない)。											
教科書	標準保健師講座 第1巻 地域看護学概論(医学書院) 標準保健師講座 第2巻 地域看護技術(医学書院)											
参考書等	国民衛生の動向、コミュニティアズパートナー(エリザベス T. アンダーソン)、ヘルスプロモーション(ローレンスW. グリーン、訳: 神馬征峰等)、他、必要に応じて適宜紹介します。											
学生の主体性を伸ばす ための教育方法と学生 への期待	地域診断は根拠に基づいた保健活動を展開する上で基本となるものです。地域診断の方法が具体的に理解できるように演習を通して学びます。積極的に授業に参加してください。											
備考	公衆衛生看護方法Ⅰを修得していないと履修できません。											
回	学習項目				学習内容				主担当 教員	授業 方法		
1回	公衆衛生看護活動における管理・地域診断のモデル、地域診断のプロセスと方法				公衆衛生看護管理の一機能である地域診断の目的と意義を学ぶ。地域看護診断と地域活動の基盤となるモデルを復習し、地域看護診断のプロセスと方法について学ぶ。				中北	講義		
2回	地域看護診断の実際①				対象市町に住む人々(コミュニティ・コア)の情報の読み取り、保健医療を取り巻く基本的な状況の整理(地域特性、社会資源等)。				中北	講義・ 演習		
3回	地域看護診断の実際②				系統的な情報収集方法について理解し、公開されている二次資料の活用方法を学ぶ。				中北、他	演習		
4回	地域看護診断の実際③				対象市町に住む人々(コミュニティ・コア)の情報収集を行う。				中北、他	演習		
5回	地域看護診断の実際④				対象市町の住民の健康に関する情報収集を行う。				中北、他	演習		
6回	地域看護診断の実際⑤				対象市町の住民の健康に関する情報収集を行う。				中北、他	演習		
7回	地域看護診断の実際⑥				対象市町の住民の健康に関する情報収集を行う。				中北、他	演習		
8回	地域看護診断の実際⑦				対象市町で実施されている保健医療施策に関する情報収集を行う。				中北、他	演習		
9回	地域看護診断の実際⑧				地域健康課題や保健事業の優先順位の考え方を理解し、収集した情報アセスメントする。				中北、他	講義・ 演習		
10回	地域看護診断の実際⑨				対象市町における母子、成人、高齢者の健康課題の抽出を抽出する。				中北、他	演習		
11回	地域看護診断の展開⑩				対象市町における母子、成人、高齢者の健康課題の優先順位と健康課題解決のための方策を検討する。				中北、他	演習		
12回	地域看護診断の展開⑪				対象市町の健康課題とその背景を図やグラフなどを用いて視覚的にまとめる。				中北、他	演習		
13回	地域看護診断の展開⑫				グループに分かれ、対象市町の概況を把握するための地区踏査計画書を作成、検討する。				清水、他	演習		
14回	地域看護診断の実際⑬				地域診断発表会 グループ発表を通じ、他の市町の特性と健康課題の特徴を学び、対象市町の健康課題を検討する。				松本、他	演習		
15回	地域看護診断の実際⑭				グループに分かれ、対象市町の健康課題やその背景要因を明確にするためのインタビューガイドを作成、検討する。				清水、他	演習		

## 学 習 課 題

公衆衛生看護学方法Ⅰで配布した資料(母子/成人・高齢/精神/障害/難病/感染症)は、本科目受講前に再度復習しておく。

本科目受講の際は、必ず上記資料は持参してください。課題作成及び演習ではパソコンを使用します。

第5, 10, 12, 14, 15回にグループ課題の提出。

## 実務経験を活かした教育の取組

- ・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。
- ・行政機関等において保健師として実務に携わった教員が指導する。